

私が見てきた“被災地”福島V

～原発事故の教訓って何だろう？～

アネックスパル法円坂 市民ギャラリーで2月27日から

2011年3月11日に発生した東日本大震災はマグニチュード9.0という日本では、観測史上最大の地震でした。「一般財団法人 大阪市教員会館」は発生後すぐに教育復興支援ということで、サクラクレパスのご協力により、文房具を岩手教育会館に運び、岩手教育会館から被災した子どもたちに届けていただきました。それ以降、復興支援ということで、3月11日を忘れないために、バザーや震災写真展を開催してきました。

今年も、昨年に引きつづき、大阪市の中学校の教員で、被災地福島の支援に取り組んでいるボランティアグループ「あいむひあ大阪」でも活動されている、木村英生さんの写真展を開催します。木村さんはおもに、福島県の南相馬市を中心に、福島第1原子力発電所によって被災した地域での支援活動の中で、被災地の姿を伝えるため、事故後の被災地の写真をずっと撮り続けられています。



大熊町中間貯蔵施設内

木村さんは、「事故後の福島の現状をよく見て考えるなかで、被災者の姿がまったく伝えられていないし、決して福島県の人だけの問題ではない、この大阪・関西で起きてもおかしくないことで、自分たちの問題でもある。2度と同じ過ちを繰り返さないために、現実をしっかり向き合い、自分たち自身の問題としてみんなで考えたい」という強い思いを持っておられます。

カーボンニュートラルの実現が提案されている中で、化石燃料の価格高騰もあり、原子力発電の復権が具体的な政策としてすすめられようとしています。

ぜひとも多くの市民のみなさんに「事故後12年を迎える被災地」の写真を通して、原発事故の現実を見ていただくとともに、木村さんの思いに触れ、被災地の現状をしっかりとらえ、この写真展を通して、震災・原発事故後の社会を考えるきっかけにしていきたいと考えています。



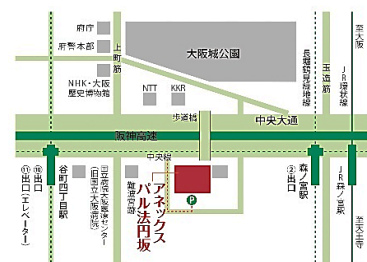
双葉駅前東側は更地が広がる

2月27日から3月30日まで、大阪市教育会館1階の市民ギャラリーで開催します。多くのおみなさまのご来場をお待ちしています。

会場 大阪市教育会館（アネックス パル法円坂）
1階 市民ギャラリー
大阪市中央区法円坂 1-1-35
TEL 06-6943-5021

展示期間 2023年2月27日（月）～3月30日（木）

開設時間 午前9時30分～午後5時 **入場無料**



木村英生震災写真展記念講演

「福島第1原発事故から12年 『教訓』はどこへ行った？

～コンセントの向こう側で起きていることを考えよう～

木村英生震災写真展の記念講演会として、3月18日（土）午後2時から大阪市教育会館3階5号室にて今回の写真の解説を中心とした木村さんの講演会を予定しています。講演会にも多数の参加をお願いします。参加費は無料です。